学齢期の発達支援を考える ~みんなで支える支援を目指して~

家庭・地域のなかで、発達障害の子どもたちは生きづらさを抱えていることがあります。学齢期にはどのような支援があるとよいのか、杉並区学齢期発達支援事業を実施している事業所の実践報告とフロアーからの意見も交え、一緒に考えていきましょう。

司会:東京女子大学 教授 森田慎一郎氏

助言者:河北総合病院 副院長 勝盛宏氏

報告者:杉並区学齢期発達支援事業所

ポスター発表:

アンダンテ西荻教育研究所、インディゴスタディスクエア、さくらんぼ教室、ドルフィンキッズ・プラス、発達支援ルーム にこっとクラブ、教育相談室 ぽるか、よむかくはじく阿佐ヶ谷教室

休憩時間には、東京女子大学 生田流箏曲部の演奏や、南 相馬障害者施設支援のドーナツの販売があります。

対象者:発達障害に関心のある方

定員:先着 200 名。申込み不要 直接会場へお越しください。

費用:無料

託児:先着5名(受付期間 平成31年2月1日~2月20日)申込みは下記連絡先へ。

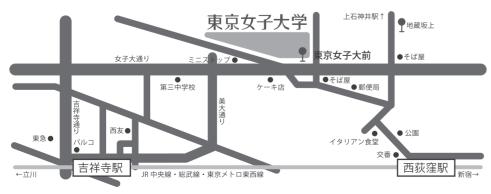
問い合わせ:杉並区立こども発達センター/地域支援講座担当 03-5317-5661

平成31年 **3**月**3**日(日) 13:00~16:00

場所:東京女子大学 23101教室

実践報告会に向けて皆様の意見を募集します。 保護者、教員、支援者などで、今回のテーマに 関してお感じになっていることやご意見などを お寄せください。会のなかで参考にさせていた だきます。尚、匿名で内容を発表・掲載させて いただく場合もありますのでご了承ください。 2月22日までに、杉並区立こども発達センター 地域支援講座担当まで、FAX:03-5317-5664 または、3.3houkokukai@gmail.com あてに メールをお送りください。





主催 杉並区

^{協力} 東京女子大学 東京女子大学心理臨床センター